

(別添)

2019年5月23日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター大阪本部

News Release

ガスこんろの事故に注意 ～火災事故に潜むヒューマンエラー～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、ガスこんろの重大製品事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2013年度から2018年度までの6年間に合計50件ありました。

(1) 製品別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※2}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度		2 [2]	6 [5]	2 [2]			10 [9]
	2014年度		1 [1]	3 [3]	1 [1]	4 [4]		9 [9]
	2015年度	1 [1]		5 [5]	2 [2]	1 [1]		9 [9]
	2016年度			1 [1]	2 [2]	1 [1]		4 [4]
	2017年度	1 [1]	1 [1]	6 [6]	2 [2]			10 [10]
	2018年度			4 [4]	2 [2]	2 [2]		8 [8]
合計	事故件数	2	4	25	11	8	0	50
	火災件数	[2]	[4]	[24]	[11]	[8]	[0]	[49]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故。

(※2) 対象外情報を除いた事故発生件数。[]は火災件数。

(2) 被害状況

表 2 に「府県別 被害状況」を示します。

表 2 府県別 被害状況^{※3} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人 的 被 害	死 亡			1 (1) [1]	1 (1) [1]	1 (1) [1]		3 (3) [3]
	重 傷			1 (1) [0]				1 (1) [0]
	軽 傷			2 (3) [2]		1 (1) [1]		3 (4) [3]
物 的 被 害	拡 大 被 害	1 [1]	4 [4]	15 [15]	9 [9]	5 [5]		34 (0) [34]
	製 品 破 損	1 [1]		6 [6]	1 [1]	1 [1]		9 (0) [9]
合 計	事故件数	2	4	25	11	8	0	50
	被害者数	(0)	(0)	(5)	(1)	(2)	(0)	(8)
	火災件数	[2]	[4]	[24]	[11]	[8]	[0]	[49]

(※3) 対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。[] は火災件数。表中において、製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。また、物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

2. 事故事例の概要

(1) 着衣に着火

2014年3月（大阪府、60歳代・男性、重傷）

【事故の内容】

ガスコンロを点火したところ、服に着火しやけどを負った。

【事故の原因】

調理時に右手をコンロに近づけ過ぎたため、袖に着火し火傷を負ったものと考えられる。なお、取扱説明書には、「使用中は手や服を炎に近づけない」旨、記載されていた。

(2) ガスコンログリルの火災

2017年6月（兵庫県、80代以上・女性、拡大被害）

【事故の内容】

ガスコンロのグリルを使用中、ガスコンロ及び周囲を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

グリルで魚を調理中、使用者がその場を離れたため、グリル受皿にたまっていた脂に着火し、グリル排気口より出た炎によって周辺が焼損したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「グリル使用中はそばから離れない」「グリル使用後にグリル受皿にたまった脂を取り除く」旨、記載されていた。

3. ガスコンロの事故の映像について

ガスコンロの事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

リスク評価広報課 課長 柿原 敬子

担当者：リスク評価広報課 向井

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617